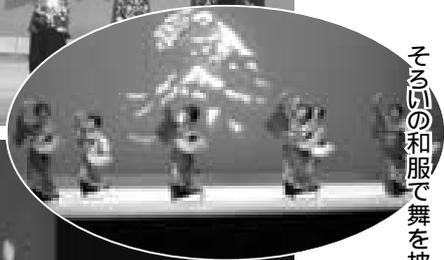


# 市と旧3町村の

3月5日・6日の2日間



子どもと一緒に  
だんべえ踊り



そろいの和服で舞を披露



優雅に  
フラダンスを

## 触発し合いさらなる発展に

会員には、全国レベルで活躍する人から活動を始めたばかりの初心者まで幅広く、各地区の会員すべてが合併後も気持ちよく活動できるような場を作り上げていくことがこれからの課題だそうです。

その上で、独自の活動をしている各団体が、それぞれの特長を生かして刺激し合いながら、異質なものが融和し一緒になることで、また、何か新たなものが生まれてくることに大きな期待が寄せられています。

しかし、互いに触発されてレベルアップしていくには、他の

団体の活動も受け入れられる寛容さが不可欠。こうした積み重ねが、市の文化・芸術の発展に大きく寄与していくでしょう。

これまで、前橋市・大胡町・宮城村・粕川村で、各地域の風土と歴史にはぐくまれた伝統文化や伝統芸能をしっかりと次世代へ伝えていくことが大切。そして、文化の薫り高い地域社会づくりにつなげていくには、文化協会の活動だけでなく、わたしたちすべての市民が郷土を愛する気持ちを忘れずに、身近なことから取り組んでいくことが必要ではないでしょうか。

## 新市民編集委員2人が加わりました

### 抱負や意気込みをこ紹介

受け身から参加へ  
住民の意識変化を



中島知子さん  
市之関町(36)

合併すると聞いたときには、身近な行政サービスが、どうな

るか不安になったのが実感でした。村役場は近くにあり、何か分らないことがあっても、すぐ聞くことができ、また、有線放送で家に居ながら地域情報に耳を傾けることもできます。そして、実際に十一月五日に合併し宮城村から前橋市となつて、役場が支所へ、他の施設も名称が変更され、市政が遠く感じてしまうこともありました。合併後の市政には、住民一人

ひとりが生きがいを持ち、安心して生活できるよう行政サービスの充実に期待しています。各世代が交流でき、温かい市民同士のつながりのある地域づくりを実現してほしいと思います。

もちろん、それには、わたしたち市民の意識が大切。受け身から参加へと切り換え、行動していかななくてはなりません。これから一年間、わたしも市民編集委員として頑張っていきたいと思います。

### 市と市民の協力に 意見交換が不可欠

今現在、市民は市政に対して



伊丹明子さん  
粕川町女淵(40)

どれだけの関心を持ち、理解しているのでしょうか。わたし自身も、正直なところ、関心はあってもよく分からないことがたくさんあります。わたしの住む粕川地区の市民も、合併して期待も多い反面、戸惑いを感じていることも多いように感じます。わたしたち市民は、何ごとも

行政任せで批判するばかりでなく、より良い地域づくりに関心を寄せ、参加しようとする姿勢を持ち続けなくてはなりません。そのためには、市政のさまざまな問題、課題について、老若男女誰にも分かりやすく情報を発信してほしいと願っています。行政と市民との理解や協力、意見交換が市政発展につながるものだと思います。わたしも、一市民として、また、子どもを持つ親の立場で、分かりやすく興味の持てる市民編集の紙面づくりに、努めていきたいと考えています。